



izone 300™ Digital Camera

ユーザーガイド

www.polaroid.co.jp

- ご使用をはじめる前に必ずお読みください -

本製品を正しく安全にお使いいただくために、下記には重要な内容を記載しております。
あらかじめご理解されたうえで本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 危　険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負うこと」がある内容であり、危険発生の切迫度が高いことを示します。
 警　告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性」が想定される内容を示します。
 注　意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「人が損害を負う、物的損害発生の可能性」が想定される内容を示します。

 危 険

●電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
-電池の液漏れ・破裂･発火・発熱により、火災や大けがの原因になります。

●本製品付属のケーブル類を首にかけてふざけたりしないでください。
-窒息などの危険があります。小さなお子様のまわりにケーブル類を放置しないでください。

●むやみに分解・変形・改造・ご自分での修理をしないでください。
-故障の原因になるばかりか、感電の危険があります。また、本製品には小さな精密部品が内蔵されており、小さなお子様のまわりでは誤飲の危険があります。絶対にしないでください。

 警 告

●電池は幼児の手の届く場所には置かないでください。
-誤飲による窒息・中毒の恐れがあります。

●同梱のCDは「データCD-ROM」です。一般のオーディオプレイヤでは絶対に再生しないでください。
-大音量によって耳に障害を被ったり、機器などを破損する恐れがあります。

●ビューファインダーで太陽や強い光を見ないでください。
-目に障害が起こる原因となります。

●人（とくにお子様）の近くでフラッシュを発光しないでください。
-フラッシュを人に向けて至近距離で発光しないでください。目に近づけて発光すると視力などに障害を起こす恐れがあります。

●歩行中、乗り物の運転中などに使用しないでください。
-転倒・交通事故の原因となります。

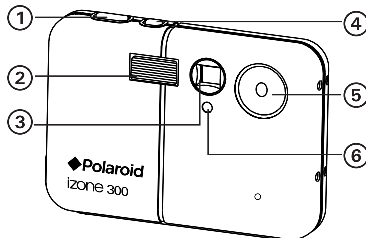
●本製品に水をかけたり、濡らしたり、極端に多湿・ほこりの多い場所での使用・保管は避けてください。
-内部に水やほこりが入ると、感電や故障、火災の原因になります。

 注 意

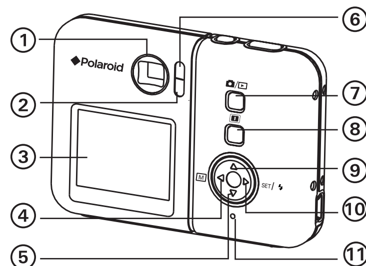
●本製品を落としたり、叩いたり、乱暴な扱いをしないでください。
故障の原因になります。

各部の名称

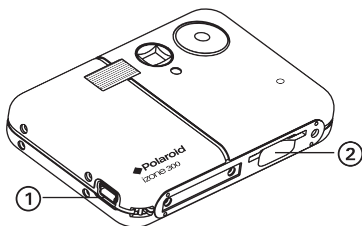
1. シャッターボタン
2. フラッシュ
3. ファインダー
4. 電源ボタン
5. レンズ
6. セルフタイマーランプ



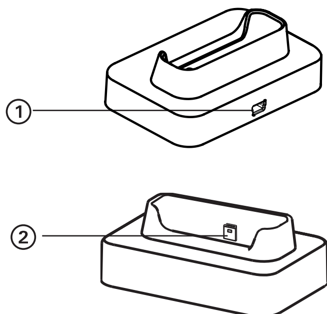
1. ファインダー
2. アクセスランプ
3. 液晶モニタ
4. メニュー / 左スクロールボタン
5. 下スクロールボタン
6. フラッシュ / 充電ランプ
7. モード切換ボタン
8. 液晶オン/オフボタン
9. 上スクロールボタン
10. セット/右スクロールボタン
11. リセットボタン



1. USB ポート
2. SD カードスロット



1. USB ポート
2. USB 端子



ドッキングステーション

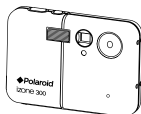
目次

1 はじめに

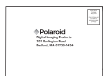
izone300™ カメラの特長は使いやすさにあります。これまでになく簡単に、デジタル撮影を楽しむことができます。このカメラで可能な例をいくつか挙げてみます。

- 被写体を狙った撮影が楽しめる。プリントやeメール用に解像度を調整。
- 内蔵メモリまたはSDカードに静止画や動画を保存。
- 液晶モニタまたはコンピュータ上で静止画および動画を再生。
- インターネットで家族や友人に静止画および動画を送信。
- PictBridgeでダイレクトプリントが楽しめる。

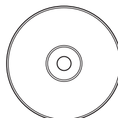
• キット内容



izone300™



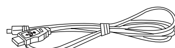
保証書



CD-ROM には、
Polaroid izone300™ カメラドライバ（PC）、
izone PhotoBase (PC & Mac)

Microsoft® NetMeeting™ (PC)

Adobe® Acrobat® Reader™ (PC & Mac)
、ユーザーガイド（PDF形式）が含まれます。



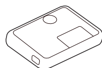
USB ケーブル



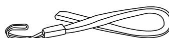
クィックガイド



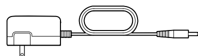
ドッキングステーション



シリコンカバー

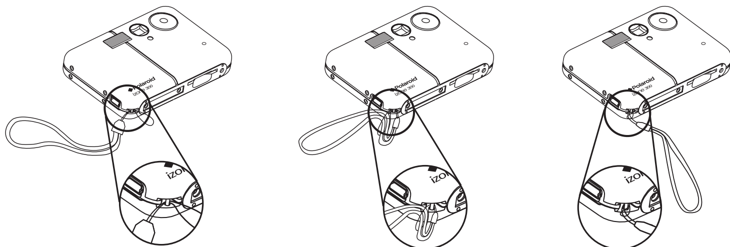


ハンドストラップ

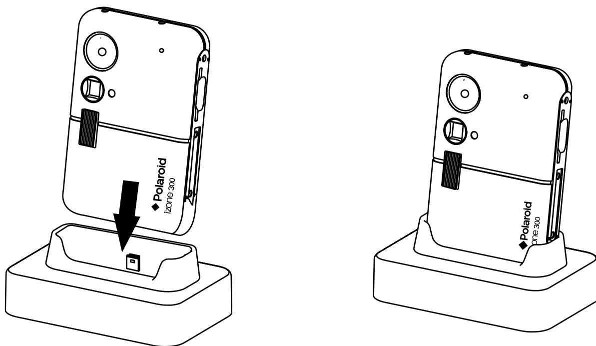


ACアダプタ

- ストラップを取り付ける



- ドッキングステーションを使う



• バッテリーを充電する

バッテリ充電には4種類の方法があります。購入後初めて本機を使用する場合は、4時間かけてバッテリを完全に充電してください。再充電には約3時間かかります。



Memo:

• バッテリー充電中カメラが若干熱くなることがありますが、異常ありません。

• 電流はコンピュータによって変化します。コンピュータによっては、十分な荷電電流を備えていないことがあります。フルバッテリー充電のため、またはカメラをコンピュータから離して使用する場合は、ACアダプタ（DC 5V, 500 mA、3.5 x 1.35 x 9 mm メスプラグ付、ポジティブセンター）のご使用をおすすめします。アダプタの詳細な情報については、お買い上げの販売店かサポートダイヤルまでお問い合わせください。

• フルバッテリー充電には、充電前に本機のスイッチを切ることをお勧めします。

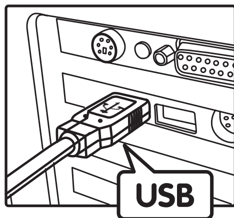
• バッテリーを最良の状態にするため、また1カ月を超える長期間使用されない場合にはとくに、本機が常に充電された状態にすることをおすすめします。

• 本機がコンピュータに接続されている場合、カメラドライバをインストールするようにメッセージが表示されることがあります。（メッセージウィンドウはWindows OSによって異なります） バッテリは、ドライバをインストールしなくても充電できます。「Cancel」をクリックし、メッセージウィンドウを閉じてください。ドライバをインストールするための詳細は、55ページ「コンピュータにソフトウェアをインストールする」を参照してください。

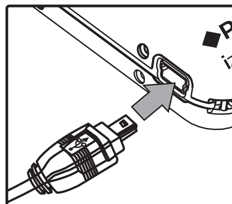


1. USB ケーブルを使用しコンピュータから充電する。

- コンピュータのUSBポートへ、USBケーブルのラベルの付いた端を差し込みます。
- USB ケーブルのもう一方の端を本機のUSB ポートに差し込みます。
  バッテリーが充電を開始し、本機の充電ランプが点滅します。バッテリがフルに充電されると、ランプは点滅しなくなります。



USB （A）端子をコンピュータに接続します。



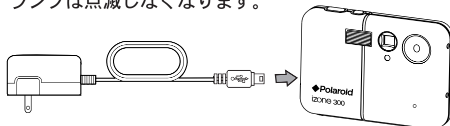
USB（ミニB）端子をizone300に接続します。
カメラまたはドッキングステーション

2. USB ケーブルを使用しドッキングステーションから充電する。

- ドッキングステーションに本機を置きます。詳細は、10ページの「ドッキングステーションを使う」を参照してください。
- コンピュータUSBポートへ、USBケーブルを差し込みます。
- ドッキングステーションのUSBポートへUSBケーブルのもう一方の端を差し込みます。
  バッテリ-が充電を開始し、カメラの充電ランプが点滅します。バッテリがフルに充電されると、ランプは点滅しなくなります。

3. ACアダプタを使う

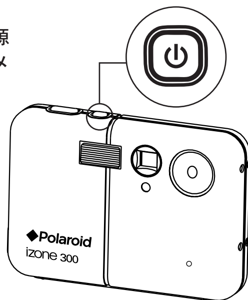
- 本機のUSBポートにACアダプタのラベルのついた端を差し込みます。
- コンセントにアダプタを接続します。
  バッテリが充電を開始し、カメラの充電ランプが点滅します。バッテリーがフルに充電されると、ランプは点滅しなくなります。



内蔵バッテリの耐用年数はカメラの耐用年数以上に設計されておりますが、充電バッテリの特性として、長期間ご愛用いただいているうちに著しく持続時間が少なくなることがあります。バッテリーの交換が必要な場合は、お買い上げの販売店かサポートダイヤルにお問い合わせください。

• 電源のオン/オフ

本機の電源を入れるには、液晶モニタが起動するまで電源ボタンを押し続けます。もう一度電源ボタンを押すとカメラの電源が切れます。



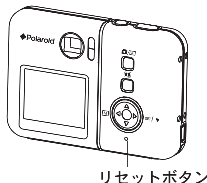
Memo:

- 撮影前に、フラッシュ/充電ランプが点灯していることを確認してください。
- バッテリー持続時間をより長くするため、本機はオートパワーオフ機能を搭載しています。本機を一定の時間使用されないと、本機の電源は自動的にオフになります。もう一度電源ボタンを押すと、カメラがオンになります。
- バッテリー残量が少ないとインジケータが表示されます。ただちにバッテリを充電してください。

• リセット機能

ごくまれですが、バッテリー残量がとくに少ないときに本機はロックアップすることがあります。この場合はリセットボタンを使用すると画像を消失することなく本機をリセットすることができます。

リセットボタンを使用するには、クリップまたはボールペンを使ってリセットボタンをやさしく押します（約5秒間押しつづけます）。本機の電源は自動的にオフになります。本機がこのような状態にならないためにも、本機を常に充電されることをお奨めします。



• バッテリー残量を確認する

撮影前にバッテリー残量レベルを確認してください。

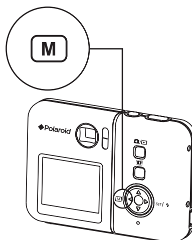
1. 本機の電源を入れます。
2. 液晶モニタの表示でバッテリー残量レベルを確認します。



- フル充電です
- 残量は充分にあります
- 残量が少なくなりました
- バッテリーがなくなりました

• メニューの選択と設定について

メニューでは、日付/時刻およびオートパワーオフといった設定や、撮影・再生モードのさまざまな設定ができます。

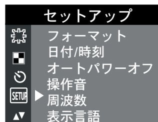


1 M ◀ ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。もう一度押しすとメニュー画面が表示されなくなります。



2 または ▼ ボタンを押し、メニュー項目を選択します。▶ SET ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

メニュー画面に戻るには、M ◀ ボタンを押します。



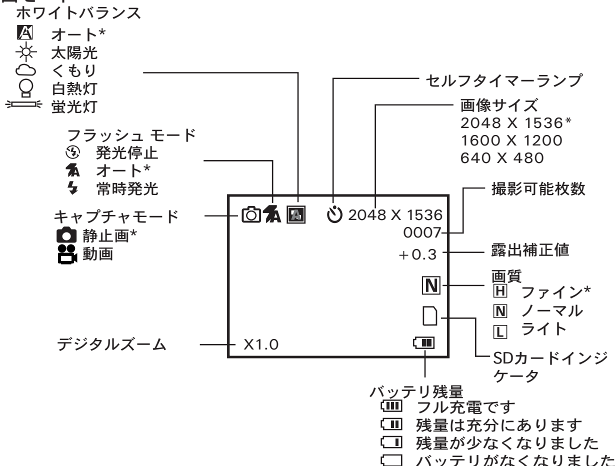
3 または ▼ ボタンを押し、設定したい項目を選択します。

4 ▶ SET ボタンを押し、確認します

2 撮影メニューの設定と初期設定

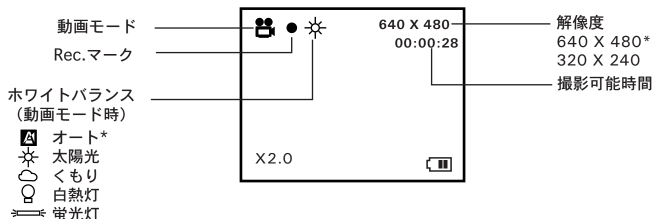
• メニューを設定する

本機の電源を入れ、液晶モニタで撮影メニューが有効に設定されているか確認してください。メニューが有効に設定されていれば、メニューアイコンが表示されます。



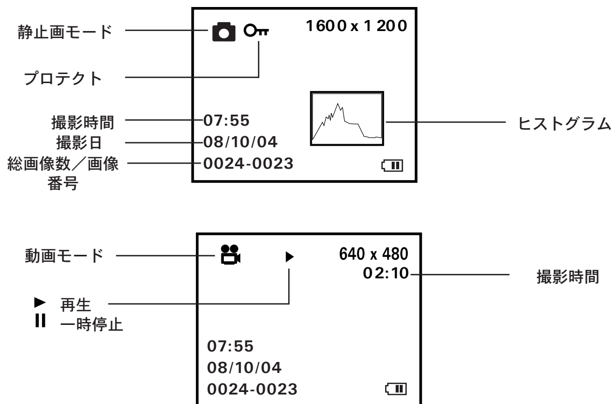
＊印が初期（お買い上げ時）の設定となっております。

動画モード



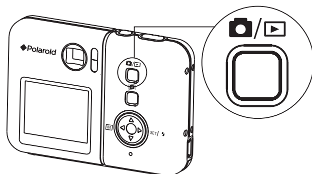
＊印が初期（お買い上げ時）の設定となっております。

再生モード



• カメラモード

本機には、撮影モードと再生モードが2種類のモードがあります。カメラ背面のモード切換ボタンを押してモードを切換えることができます。



撮影モード

このモードでは、静止画モードと動画モードを選択し、撮影メニューを設定することができます。詳細については、26ページ「静止画を撮影する」と33ページ「動画を撮影する」を参照してください。

再生モード

このモードでは、撮影した静止画と動画の再生および消去ができます。詳細については、36ページの「静止画および動画の再生と消去」を参照してください。

• 撮影モード

本機には、静止画と動画の2つの撮影モードがあります。

 静止画モード

 動画モード



次のようにして2つのモードを切り換えることができます。

1. 撮影モード ■. に設定します。
2. [M] ◀ ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して[D]撮影モードメニューを選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。
5. ▲ または ▼ ボタンを押し、 撮影モードを選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。



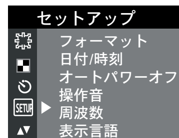
Memo:

- お買い上げ時は静止画モードに設定されています。
- 動画モードも同様にして切り替えてください。

• セットアップ メニュー

セットアップメニューは、静止画撮影モードと動画撮影モードのいずれに設定されていても表示されます。

1. 撮影モードを選択します。
2. M ◀ ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、SETUP（セットアップ）を選択します。
4. ▶SET ボタンを押します。
5. ▲ または ▼ ボタンを押し、選択します。



• 内蔵メモリのフォーマット

内蔵メモリのフォーマットは、メモリに保存されている全データを消去します。

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. セットアップメニュー画面を表示します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して、「フォーマット」を選択します。
4. ▶SETボタンを押します。
5. ▲ または ▼ ボタンを押し、「フォーマット」を選択します。
6. ▶SET ボタンを押すとフォーマットされます。

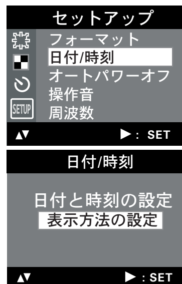



Memo:

- フォーマット操作で削除したデータは、修復できません。フォーマットを実行する前に、充分に確認してください。
- 内蔵メモリのフォーマットは、プロテクトされていてる画像や動画を含めすべてのデータを消去します。
- SDカードが挿入されていると、上記では挿入されているSDカードのみフォーマットします。内蔵メモリをフォーマットするには、SDカードが挿入されていない状態で上記の操作を行ってください。

• 日付・時刻を設定する

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. セットアップメニュー画面を表示します。
3. ▲ または ▼ボタンを押し、「日付/時刻」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。



表示方法の設定

5. ▲ または▼ボタンを押し、「表示方法の設定」を選択します。
6. ▶ SETボタンを押します。



7. ▲ または ▼ ボタンを押し、日付の表示方法を選択します。
8. ▶ SET ボタンを押し、決定します。



日付と時刻の設定

5. ▲ または ▼ ボタンを押し、 「日付と時刻の設定」を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、設定項目を選択します。



セットアップ
DD/MM/YY
00/00/00
00:00:00
設定
▲▼ ▶ : SET

7. ▲ または ▼ ボタンを押し、設定内容を調整します。
8. M ◀ボタンを押し、次の項目へ切り換えます。
9. ▶ SET ボタンを押し、設定内容を決定します。

• オートパワーオフ

バッテリの持続時間をより長くするため、本機にはオートパワーオフ機能があります。

OFF	オートパワーオフ機能は作動しません。
1/3/5 分	カメラは、一定期間非動作状態になると、バッテリ寿命を節約するため自動的にオフに切り換わるように設計されています。

次のようにして、オートパワーオフ設定を変更することができます。

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. セットアップメニュー画面を表示します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「オートパワーオフ」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。



5. ▲ または▼ ボタンを押し、設定を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。





Memo:

- オートパワーオフ機能はは、以下の状態のとき働きません。
- スライドショーを実行しているとき
- 本機のUSBポートがコンピュータまたは他の外部デバイスに接続されている,または本機が外部デバイスによって制御されているとき
- オートパワーオフ機能がオフに設定されていても、1分以上何も操作をしないと液晶モニタは自動的に何も表示しなくなります。電源ボタン以外のボタンを押すと、液晶モニタが再度表示されます。

• 操作音オン/オフ設定

操作音（ビープ音）のオン/オフ切換ができます。オンに設定すると、本機のボタンを押すとビープ音が鳴ります。

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. セットアップメニュー画面を表示します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、｢操作音｣を選択します。
4. ▶ SETボタンを押します。



5. ▲ または▼ボタンを押し、「オン」「オフ」を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。



• 周波数の設定

電源周波数はお住まいの地域、国によって異なります。室内で撮影する場合、本機の電源周波数をお住まいの地域に合うように設定をお奨めします。

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. セットアップメニュー画面を表示します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、｢周波数の設定｣を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。
5. ▲ または ▼ ボタンを押し、選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。





• 表示言語の設定

この設定で、液晶モニタに表示される言語を選択することができます。

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. セットアップメニュー画面を表示します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「言語の設定」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。



5. ▲ または▼ ボタンを押し、表示する言語を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。



• 日付スタンプ設定

日付スタンプを使うと、プリントするときにプリンタ側で画像に日付をプリントすることができます。

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. セットアップメニュー画面を表示します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「日付スタンプ」を選択します。
4. ▶ SETボタンを押します。



5. ▲ または ▼ ボタンを押し、「オン」「オフ」を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。





Memo:

この設定は、静止画モードでのみ使用できます。

• 設定のリセット

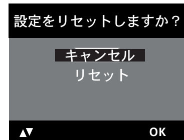
次のように、設定をすべての項目を、本機の初期（お買い上げ時）設定に戻すことができます。

詳細については、**ページの「設定のリセット」を参照してください。

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. セットアップメニュー画面を表示します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、 「設定のリセット」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。



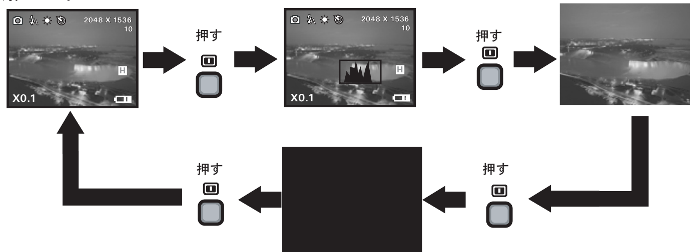
5. ▲ または ▼ ボタンを押し、「リセット」を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押すと、すべての設定がリセットされます。



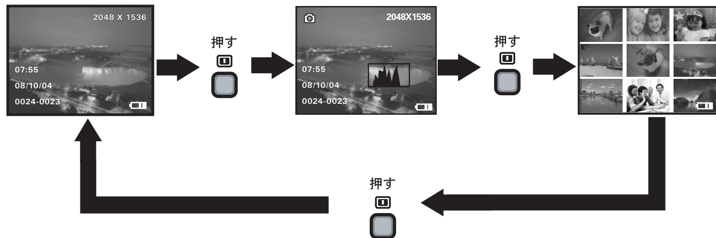
• 液晶モニタの表示とオン/オフの切換

[■] ボタンを押すと、 以下の順に液晶モニタ表示を図のように切り換えることができます。

撮影モード



再生モード



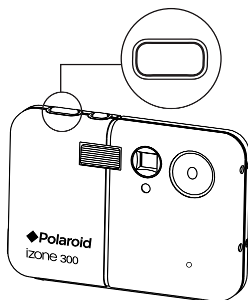
3 撮影する

撮影する前に、次の注意をお読みください:

フラッシュを使わない屋外撮影
- 直射日光や極端に強い強い太陽光を避けてください。
- 被写体の前に、太陽またはその他の光源があたるるようにしてください

• 静止画を撮影する

被写体から1m以上離れて撮影してください
1. 静止画撮影モードを選択します。
2. ファインダーか液晶モニタを使い構図を決めます。
3. しっかり構えてシャッターボタンを押し撮影します。操作音がオンに設定されている場合、撮影するとビープ音が鳴ります。



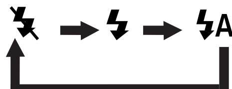

Memo:
撮影前に、フラッシュ/充電ランプが点灯していることを確認してください。

• 液晶モニタをオフにして写真を撮影する

液晶モニタをオフにしたまま静止画を撮影することもできます。ファインダーを使って構図を決定してください。

• フラッシュモードを設定する

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. フラッシュボタンを押すと、以下のようにフラッシュ モードを切り替えられます。



フラッシュ ボタンを押すと、選択したアイコンが液晶モニタに表示され、撮影することができます。フラッシュは、 フラッシュ撮影後チャージされます。

フラッシュ連動範囲は、約1~2mです。最良の結果を得るためには1.5m以上離れての撮影をお奨めします。

本機には3種類のフラッシュモード（初期設定はオート）があります。フラッシュは夜間、屋内、屋外の暗いところで撮影する場合に使用してください。

撮影時/場所の状況:	フラッシュモード	液晶モニタに表示されるアイコン
フラッシュは発光しません。 屋外での撮影、フラッシュ発光が禁止されているまたは混乱を引き起こす可能性がある場所、または窓や鏡など反射面に向かって撮影する場合。 この設定では、十分な照明がない場合、撮影された画像は暗くなることがあります。	発光停止	
フラッシュは、必要に応じて自動的に発光します。通常はこの設定を使います。	オート	
フラッシュは、常に発光します。高コントラストの状況下、または照明が低い室内で使います。	常時発光	



Memo:

- フラッシュモードは、動画モードでは利用できません。
- フラッシュ部に触れないでください。正しく発光しない原因となることがあります。

• セルフタイマー

本機にはセルフタイマー機能を利用して撮影することができます。 シャッターボタンを押してから約10秒に撮影されます。



1. 静止画撮影モードを選択します。
2. M ◀ ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、 「セルフタイマー」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。



5. ▲ または ▼ ボタンを押し、「オン」を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。



7. 液晶モニタ上に液晶モニタアイコンが表示されます。

Memo:
セルフタイマー機能を使用不能にするには、上記5で「オフ」を選択します。

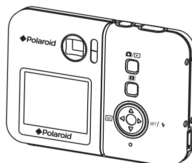
8. ファインダーか液晶モニタを使い構図を決めます。
9. シャッターボタンを押しすとセルフタイマー撮影が開始されます。操作音がオンに設定されていればビープ音が鳴り、セルフタイマーランプが点滅します

Memo:
セルフタイマー撮影をするときは、三脚（別売り）をお使いいただくか水平な台などに確実に置いてください。

• ズーム撮影をする

本機では、3倍デジタルズームで被写体を拡大して撮影ができます。

1. 静止画撮影モードを選択します。 .
2. ▲ を押すとズームイン、 ▼ ボタンを押すとズームアウトできます。 ズーム倍率が液晶モニタに表示されます。





デジタルズーム（倍率）

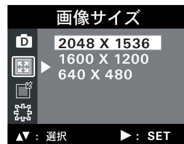
ファインダーでは実際にズームした画像を確認できません。デジタルズーム使用するときには、液晶モニタを使っての撮影をお奨めします。

Memo:
- デジタルズームは、デジタル処理で被写体を拡大して撮影するため、本機の本来の画質性能を充分に発揮できません。
- デジタルズーム機能は、画像サイズを320 x 240に設定した動画撮影には使用できません。

• 画像サイズと画質の設定

画像サイズとはデジタル画像を構成するピクセルの数を指します。
画像サイズを大きくすると、データ容量は大きくなり、メモリなどに記録できる画像数は少なくなります。プリント用やメール添付用など用途に応じて設定してください。



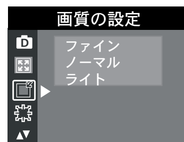


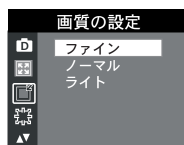
画像サイズの設定

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. M ◀ ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「画像サイズ」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。
5. ▲または ▼ ボタンを押し、設定を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。



Memo:
プリントされる場合には、画像サイズを2048 x 1536 に設定することをお奨めします。





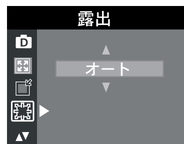
画質の設定

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. M ◀ ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「画質」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。
5. ▲ または ▼ ボタンを押し、設定を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。

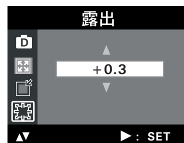
• 露出補正の設定

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合などには、-1.5EV から +1.5EVの範囲で、露出（EV）を補正することができます。
逆光や間接照明、背景が暗い状況下で撮影する場合に有効です。

1. 静止画撮影モードを選択します。
2. M ◀ ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタン を押し、「露出」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。



5. ▲ または ▼ ボタンを押し、補正の段階を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定ます。





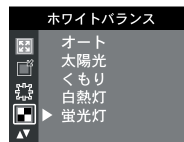
Memo:

- 色の薄い被写体や背景が光っている被写体を撮影するときは+（プラス）補正を、濃い色の被写体や晴れた日の屋外などで撮影する場合は-（マイナス）補正してください。
- 極端に明るい場所や暗い場所などでは、露出補正な範囲を超え充分に補正できないことがあります。

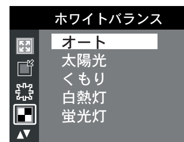
• ホワイトバランスの設定

撮影時の光源にあわせホワイトバランスを設定できます。

1. 静止画撮影モードを選択します
2. M ◀ ボタンを押します
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「ホワイトバランス」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。



5. ▲ または ▼ ボタンを押し、設定を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押します



これらの状況で撮影する場合:	適する設定
オート	A
太陽光での撮影	☀
曇天での撮影	☁
白熱灯下での撮影	💡
屋内、蛍光灯下での撮影	蛍光灯



Memo:
本機の撮影モードの初期（お買い上げ時）設定は静止画モードに設定されています。動画撮影するときは、撮影モードを静止画モードからから動画モードへ切り替えてください。詳細は、21ページの「ドライブモード」をご参照ください。

• 動画を撮影する

動画撮影モードで動画を撮影します。液晶モニタには撮影可能な時間が表示されます。撮影中は • (Recマーク）点滅します。

1. 動画撮影モードに設定します。 Rec.マーク
2. 液晶モニタで構図を決めます。
3. シャッターボタンを完全に押すと撮影を開始します。
4. 撮影を停止するときはシャッターボタンをもう一度押します。撮影に必要なメモリ残量がなくなると撮影は自動的に停止します。

Rec.マーク



• 動画サイズ（動画の画像サイズ）の設定

動画の画像サイズとは、デジタル動画を構成するピクセルの数を指します。画像サイズを大きくすると、画質は向上しますが、データ容量は大きくなりメモリなどに記録できる時間は少なくなります。

1. 動画撮影モードを選択します。
2. M ◀ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「動画サイズ」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。



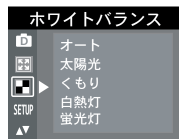
5. ▲ または ▼ ボタンを押し、設定を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。



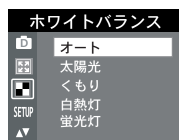
• 動画のホワイトバランス設定

撮影時の光源にあわせホワイトバランスを設定できます。

1. 動画撮影モードを選択します。



2. M ◀ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「ホワイトバランス」を選択します。
4. ボタンを押します。



5. ▲ または ▼ ボタンを押し、設定を選択します。
6. ボタンを押し、決定します。

これらの状況で撮影する場合	適する設定
オート	[A]
太陽光での撮影	☼
曇天での撮影	☁
白熱灯下での撮影	💡
屋内、蛍光灯下での撮影	⊐⊏

5 静止画や動画の再生と消去


Memo:
静止画や動画を再生するときは、撮影モードから再生モードへ切り替えてください。詳細については21ページの「カメラモード」をご参照てください。

• 静止画を見る

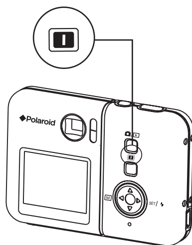
1. 再生モードを選択します。
2. ▲ または ▼ ボタンを使い、撮影した静止画を見ます。

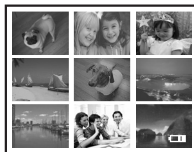
静止画を再生している場合は、 D アイコンが液晶モニタに表示されます。

• サムネイルで静止画と動画のファイルを見る

サムネイル機能を使うことにより、液晶モニタ上では、一度に9ファイルまで静止画と動画を見ることができます。

1. カメラを再生モードに設定します。
2. ボタンを2回押すと、サムネイルファイルが液晶モニタに表示されます。また最後に見た静止画はハイライトされます。
3. ▲、▼ および M ◀ ▶ SET ボタンを押し、サムネイルファイルから静止画を選択します。 ボタンを押すとフルスクリーン再生になります





• スライドショー
メモリ内の静止画および動画をスライドショー再生することができます。

以下のように、スライドショーの再生の方向と間隔を設定し再生を開始します。

1. 再生モードを選択します。
2. Ⓜ ◀ボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押し、「スライドショー」を選択します。
4. ▶SET ボタンを押します。



5. ▲または▼ボタンを押し、「設定」を選択します。
6. ▶SET ボタンを押します。



方向の設定
7. ▲または▼ボタンを押し、「再生の方向」を選択します。
8. ▶SET ボタンを押します。



9. ▲または▼ボタンを押し、設定を選択します。
10. ▶SET ボタンを押し、決定します。



間隔の設定

7. ▲ または ▼ ボタンを押し、「再生間隔」を選択します。
8. ▶ SET ボタンを押します。



9. ▲ または ▼ ボタンを押し、設定を選択します。
10. ▶ SET ボタンを押します。

スライドショーを開始する

42ページの1、2、3、4を実行します。

5. ▲ または ▼ ボタンを押し、「再生」を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押します。

スライドショーは直前に再生した画像（静止画または動画の最初の1フレーム）から設定した方向、間隔のとおり再生されます。▲ または ▼ ボタンを押すと、スライドショー再生を停止します。また、スライドショー再生中はオートパワーオフ機能は働きません。

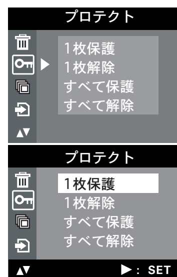
• 動画を再生する



1. 再生モードを選択します。
2. ▲または▼ボタンを押し、再生する動画を選択します。
3. ▶ SET ボタンを押すと、動画の再生を開始します。もう一度押すと一時停止になります。
4. ▼ ボタンを押すと、停止します。

動画モードを選択すると、 アイコンが液晶モニタに表示されます。

• 静止画や動画をプロテクト（保護）する。



1. 再生モードを選択します。
2. M ◀ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「プロテクト」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。
5. ▲ または ▼ ボタンを押し、設定を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押します。

1枚保護	選択した静止画または動画をプロテクトします。
1枚解除	選択した静止画または動画のプロテクトを解除します。
すべて保護	静止画および動画すべてをプロテクトします。
すべて解除	静止画および動画のすべてのプロテクトを解除します。

プロテクトされた静止画や動画をファイルを再生すると、O┳ が液晶モニタに表示されます。

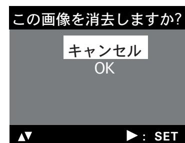


Memo:
プロテクト（または解除）する静止画または動画を先に再生してから、「1枚保護」または「1枚解除」の操作をしてください。

• 静止画や動画を消去する



1. 再生モードを選択します。
2. M ◀ ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「消去」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。
5. ▲ または ▼ ボタンを押し、項目を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押します。



7. 確認メッセージを、▲ または ▼ ボタンで選択します。
8. ▶ SET ボタンを押します。

「キャンセル」を選択すると消去の取り消しができます。



Memo:
- 消去する静止画または動画を先に再生してから、「1枚消去」の操作をしてください。
- プロテクトしたファイルは消去できません。消去する前にプロテクトを解除してください。
- 消去された静止画や動画はすべて修復できません。

6 プリント設定

• PictBridgeについて

PictBridge規格に対応しているデジタルカメラとプリンタをダイレクトに接続して、パソコンやソフトウェアを介さずに撮影した画像をプリントすることができます。

Pictbridge 対応プリンタで画像を印刷する

1. カメラとプリンタを用意します。

カメラ	バッテリーがフル充電であることを確認してください。
プリンタ	プリンタの取扱説明書を参照し各種設定行い、用紙、インクカセット、カートリッジなどを用意してください。

カメラとプリンタの電源を入れます。

2. PictBridge モードを選択

本機を再生モードに設定し、PictBridge モードを選択します。 詳細は、42ページをご参照ください。

3.カメラをプリンタに接続します。

詳細は、43ページの「カメラとプリンタ接続」をご参照ください。

4. プリント設定選択

プリント設定を選択します。詳細は、44ページをご参照ください。

5. 印刷

「プリント」およびボタンを押し、プリントを開始します。詳細は47ページをご参照ください。

プリントのキャンセル
▶ SETを押し、印刷ジョブを取り消します。プリントが停止し、用紙が排出されます。



プリントエラー
プリント中またはプリント前に、何らかの理由でエラーが発生した場合、「キャンセル」または「再試行」ボタンを押します。




Memo:

- 問題の解決についてはプリンタのユーザーガイドを参照してください。問題が解決されていればプリントは再開されます。
- 「再試行」ボタンを押してもエラーが発生することがあります。その場合は、「キャンセル」ボタンを押し、プリントをキャンセルしてください。

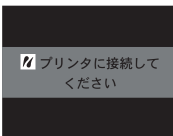
PictBridge モードの設定

1. 再生モードを選択します。
2. (M) ◀ボタンを押します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「プリント設定」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。
5. ▲ または ▼ ボタンを押し 「PICTBRIDGE」を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。

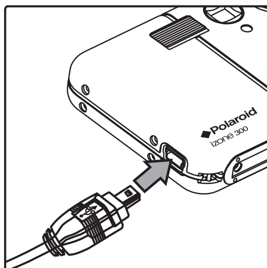


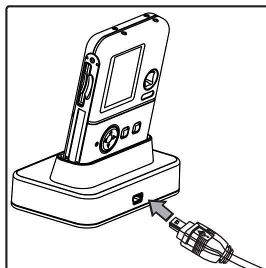



Memo:
1枚の画像をする場合は、PictBridge モードを選択する前にプリントする画像を選択してください。



カメラとプリンタ接続
USB ケーブルを使って接続する





1. USBケーブルのA端子を、プリンタのUSB•⭠ポートに差し込みます。USBポートの位置は、プリンタによって異なります。
2. USBケーブルのミニB端子を本機のUSBポートに差し込みます。



Memo:

- プリンタへ適切に接続されると「プリンタが接続されました」と液晶モニタに表示されます。
- 「プリンタに接続してください」と表示されるまで、本機にUSBケーブルを接続しないでください。 すでに本機にケーブルを接続している場合は、接続するように表示されるまで、接続しないでください。
- 「プリンタに接続してください」と表示されてから、約10秒間で、本機とプリンタが接続されていなくても、PictBridgeプリント設定画面にスキップします。

プリンタが 接続されました

プリントの設定

1. ▲ または ▼ ボタンを押し、プリントオプションを選択します。



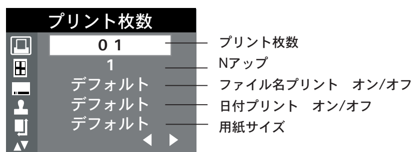
2. プリントオプションは以下のとおりです。

この画像	P本機の内蔵メモリまたはSDカードから選択した画像をプリントします。このオプションを使用するときはPictbridgeモードを選択する前にプリントする画像を再生しておいてください。
すべての画像	本機の内蔵メモリまたはSDカードのすべての画像を、プリントします。
インデックス	本機の内蔵メモリまたはSDカードのすべての画像をまとめてインデックスプリントします。

Memo:

- 1枚の画像をプリントするときは、あらかじめプリントする画像を再生しておいてください。
- プリント設定は、静止画のみに適用されます。プリントする前に内蔵メモリやSDカードに、動画や他のファイルがないことを確認してください。動画や他のファイルが含まれていると、「すべての画像」または「インデックス」でプリントするとエラーになります。
- 必ずしもすべてのプリンタがこれらのプリントオプションをサポートしているわけではありません。オプションが利用できるかについては、プリンタの取扱説明書をご参照ください。

3. ▶ SET ボタンを押し、プリント設定を選択します。



▲ または ▼ ボタン で設定項目を選択し、M ◀ または ▶ SETボタンで設定内容を選択します。

Memo:
本機のプリント設定がプリンタにサポートされていないと「プリンタエラー」が液晶モニタに表示されることがあります。この場合、「デフォルト」をこの設定用に選択してください。



プリント枚数を指定

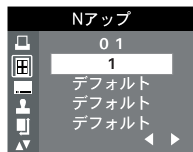
1. ▲ または ▼ ボタンを押し、「プリント枚数」を選択します。
2. M ◀ または ▶ SET ボタンを押し、選択した画像または全画像の印刷したい部数（1から99）を指定します。



Memo:
初期（お買い上げ時）設定は「01」です。

Nアップ設定

1. ▲ または ▼ ボタンを押し、「Nアップ」を選択します。
2. M ◀ または ▶ SET ボタンを押し、1ページの分割コマ数を指定します。



デフォルト	プリンタの設定に従います
1/2/4/6/8	1/2/4/6/8 コマに分割しプリントします
ボーダレス	ページの右端にプリントします

ファイル名プリント設定

1. ▲ または ▼ ボタンを押し、「ファイル名プリント」を選択します。
2. ▶ SET ボタンを押し、「デフォルト」、「オン」または「オフ」を選択します。



デフォルト	プリンタの設定に従います
オン	ファイルがプリントされます
オフ	ファイル名はプリントされません

日付プリント設定

1. 上または下スクロールボタンを押し、「日付プリント」を選択します。
2. M ◀ または ▶ SET ボタンを押し、「デフォルト」、「オン」または「オフ」を選択します。



デフォルト	プリンタの設定に従います
オン	撮影日をプリントします。
オフ	撮影日をプリントされません。

用紙サイズの選択

1. ▲ または ▼ ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。
2. (M) ◀ または ▶ SET ボタンを押し、用紙サイズを選択します。



以下の用紙サイズが選択できます。8 x 10インチ、4 x
フォルト

デフォルト　　　プリンタの設定に従います

プリントする

1. ▲ または ▼ ボタンを押し、、「プリント」を選択します。
2. ▶ SET ボタンを押し、プリントします。

Memo:
ここで「キャンセル」ボタンを押すと、再生モードに戻ります。

• DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）

「DPOF」は、「Digital Print Order Format」の略で、メモリカードなどのメディアに記録された画像のどれを何枚印刷するかを指定するためのフォーマットです。メモリーカードに記録された画像をご自分のDPOF対応プリンタでプリントする場合やプリント店に依頼するときに使用します。

画像を選択、指定するときはファイル名だけでなく、本機の液晶モニタで確認されることをお奨めします。

Memo:
プリント設定は、静止画のみに適用されます。プリントする前に内蔵メモリやSDカードに、動画や他のファイルがないことを確認してください。動画や他のファイルが含まれているとき「すべての画像」オプションを指定するとエラーになります。

1. SDカードを本機に挿入します。
2. 本機の電源を入れます。
3. 再生モードを選択します。
4. M ◀ボタンを押します。
5. ▲ または ▼ ボタンを押し、「プリント設定」を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押します。



7. ▲ または ▼ ボタンを押し、「DPOF」を選択します。
8. ▶ SET ボタンを押します。

9. ▲ または ▼ ボタンを押し、設定を選択します。
10. ▶ SET ボタンを押します。

この画像　SDカードで選択した静止画のプリント枚数を最大99枚まで指定できます。

すべての画像　SDカードのすべての静止画のプリント枚数を最大99枚まで指定できます。（1枚ごとの枚数指定はできません。）

Memo:
DPOFで1枚の画像をプリント指定するには、あらかじめに画像を再生しておいてください。

11. ▲ または ▼ ボタンを押し、設定を選択します。
12. ▶ SET ボタンを押し、決定ます。



13. DPOF対応プリンタでプリントするときは、本機からSDカードを取り出し、プリンタのカードスロットに挿入します。カードスロットの位置はプリンタによって異なります、


Memo:
SDカードを挿入、取り出しは本機の電源を確実に切ってからおこなってください。

14. プリンタの印刷ボタンを押し、印刷を開始します。

SDカードスロットからSDカードを取り出すときは、カードを内側にそっと押し込んで離します。

7 SD（Secure Digital） カードを使う

• SDカードを使う

本機は静止画と動画を記録可能なフラッシュメモリー（8MB）を内蔵しておりますが、SDメモリーカード（別売）を使用することもできます（1GBまで対応）。SDカードが使用（=挿入）されている場合はSDカードが優先され、内蔵フラッシュメモリーは使用できません。

メモリの保存容量については68~70ページを参照してください。

SDカードご使用の際は以下の点にご注意ください

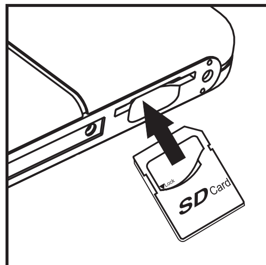
1. 本機はSDカードのみに対応しています。 他のメモリーカードはご使用にならないでください。
2. 静電気や電気的ノイズなどはデータの破損または消失の原因となることがあります。重要なデータはハードディスクなど別のメディアに必ずバックアッしてください。
3. SDカードが異常をきたした場合は、フォーマットをすれば再度使用することができます。また屋外等で本機を使用される場合は予備のカードをご用意されることをお奨めします。
4. ご購入後や、使用中のカードに異常を感じた場合はいつでも、SDカードをフォーマットすることをお奨めします。また他のカメラやデバイス等で使用された後、本機で使用される場合はフォーマットを行ってください。



重要!

- SDカードを挿入または取り出す前に、必ず本機の電源を切ってください。
- 挿入するときは、SDカードの向きを正しく保ち、差し込んでください。うまく入らない場合は無理に押し込まず、カードの向きを確認してください。
- SD カードは、誤消去を防止する書き込み保護スイッチがついています。新しく記録したりフォーマットする場合は、必ず書き込み保護を解除してください。
- データの破損や消失を防ぐため、他のカメラで記録された画像ファイルがあるSDカードは本機で使用しないでください。本機でSDカードを使用されるときは、新しいSDカードをご使用いただくか、フォーマットされてからご使用になることを強くお奨めします。当社ではデータの破損、消失には一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

SDカードを入れる
カメラの電源を切ります。SDカードを挿入し、図の通りカードが正しく挿入されていることを確認します。



カメラの電源を切り、図のようにSDカードを正しい向きでSDカードスロットに押し込みます。

SDカードを取り出す
カメラの電源を切り、SDカードを一度押し込んでSDカードスロットから取り出します

重要!
- 本機のSD カードスロットには、本機やSDカードを破損する恐れがありますので、SDカード以外の物は絶対に挿入しないでください。
- 万一SDカードスロットに水または異物が入った場合は、すぐに本機の電源を切り、販売店またはサポートダイヤルにご連絡ください。
- 本機の電源が入っている時は、SDカードを取り出さないでください。 撮影が失敗したり、SDカードが損傷する原因になります。

SDカードのフォーマット
SDカードのフォーマットは、プロテクトされているものも含めて、保存しているファイルをすべて消去します。フォーマット中にSDカードを取り出すと、SDカードを損傷することがあります。

1. 本機のカードスロットにSDカードを挿入します。
2. 本機の電源を入れます。
3. 手順は、内蔵メモリのフォーマットと同じです。詳細は22ページの「内蔵メモリのフォーマット」を参照してください。

重要!
- 本機またはパソコンでSDカードをフォーマットすることができます。しかし、パソコンでのフォーマットは本機でおこなうより時間がかかります。
- フォーマット操作で消去されたデータは復旧できません。フォーマットはSDカードに必要なデータが残されていないことを確認してからおこなってください。

• 内蔵メモリからSDカードへ静止画や動画をコピーする

1. SD カードを本機のカードスロットに挿入します。
2. 本機の電源を入れます。
3. 再生モードを選択します。
4. M ◀ボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押し、「SDカードにコピー」を選択します
6. ▶ SETボタンを押します。



7. ▲または▼ボタンを押し、設定を選択します。
8. ▶ボタンを押しコピーします。



上記 7 で、「キャンセル」ボタンを押すと再生モードに戻ります。 またSDカードから内蔵メモリへのコピーはできません。




Memo:
コピーした元の静止画や動画は、コピーした後も本機の内蔵メモリに残っています。内蔵メモリから消去するときは必ずSDカードを取り出してください。

8 ドライバをパソコンにインストールする

• ソフトウェアをインストールする

Windows® ユーザー:

PC



重要!

- ソフトウェアをインストールする前に他のソフトウェアはすべて終了し必要なバックアップを行ってください。
- ソフトウェアをインストールしたら、パソコンを再起動してください。



重要!（Windows®. 98SE をお使いの方のみ）

Windows_98SE がインストールされているパソコンに本機を接続するにはドライバをインストールしておく必要があります。インストールが完了したらパソコンを再起動し、カメラを接続します。



重要!

Ver.9.0 以降のDirectX をインストールすると、お使いのパソコンのサウンドやグラフィックスのパフォーマンスを向上させることができます。DirectX は以下のサイトからダウンロードできます http://www.microsoft.com/japan/windows/directx/default.mspx



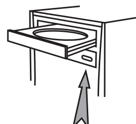
重要!（Windows. Me、2000、XP をお使いの方のみ）

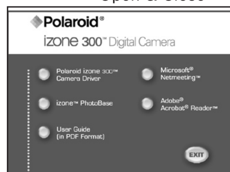
パソコンに画像を取り込むためにドライバをインストールする必要はありません。



重要!-お使いのパソコンの環境によっては、インストール中にWindows® システムCDをセットするようメッセージが現れることがあります。この場合はメッセージに従いWindows® システムCD をセットしてください。あるいは付属のCDがセットされている場合はパスを指定すれば、（ドライブ: ¥>//software/Driver/Sysfile ） 自動的に必要なファイルがインストールされます。

1. インストールを始める前に実行中のすべてのアプリケーションを終了させてください。
2. 付属のCDを パソコンのCD-ROM ドライブにセットしてください。
3. Polaroid CDアイコンをダブルクリックしてください。
4. インストールが始まります。







Memo:
CDをセットしても、セットアップ画面が表示されない場合は付属のCDをセットしてもインストール画面が表示されない場合はデスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、CD-ROMアイコンを表示させてください。CD-ROMドライブアイコンが表示されたらダブルクリックし、CD-ROMウィンドウを開きINSTALL-E.EXE ファイルをダブルクリックしてください。

Macintosh ユーザの方へ:

Mac

1.インストールを始める前に実行中のすべてのアプリケーションを終了させてください
2.付属のCDを パソコンのCD-ROM ドライブにセットしてください
3.Polaroid CDアイコンをダブルクリックしてください
4.インストールが始まります

• 付属のソフトウェアについて

izone PhotoBase　ソフトウェア -- 画像やファイルの管理をより簡単に!

izone PhotoBase は、マルチメディアファイルの整理と表現に役立ちます。 スライドショー、ウェブアルバム、動画ポストカードが素早く簡単に作成できます。また、画像のクィックリファレンス用にコンタクトプリントをプリントできます。izone PhotoBaseはの独自の「アルバム」構造になっており、デジタルカメラ、スキャナ、動画デバイスおよびリムーバブルディスクといった様々なソースからファイルを取り込むことができなど、ファイルの管理や整理が簡単にできます。

本機をパソコンに接続したら、izone PhotoBase ソフトウェアは自動的にコンピュータに転送の必要がある新しい写真があるかどうかチェックします。新しい画像を認識したら、パソコンへの取り込み選択ウィンドウが表示されます。izone PhotoBase に自動的にコンピュータヘカメラの画像すべてをダウンロードしてほしいか、 プロンプトが出ます。izone PhotoBase ソフトウェアでは、日付、画像/フォルダ名のいずれかでコンピュータ上のすべての画像を速やかにソートすることができます。そして画像を取り込んだら、簡単な編集、プリント、共有を時間をかけずに行うことができます!

Microsoft®. NetMeeting™ -PCカメラソフトウェア

NetMeeting™. はインターネットおよび企業のイントラネットに最適な会議ソリューションを提供します。
音声・動画両方を使った通信や、 どのWindowsベースアプリケーションでも共同作業することができ、電子ホワイトボード上でグラフィックを交換、ファイル転送、テキストベースのチャットなどもできます。PCとインターネットを使い、世界中の友人、家族と対面して会話をすることができます。

Adobe®. Acrobat®. Reader™ -PDF ファイル読み取りソフトウェア

Adobe®. Acrobat®. Reader™ は、 すべての主要なコンピュータプラットフォーム上で、Adobe Portable Document format（PDF） ファイルを開いたり、PDFフォームに記入することができます。

• 動作環境

パソコンに画像を取り込むには、以下のシステム要件を満たす必要があります。

Windows® **PC**

- Microsoft. Windows. 98SE, Me, 2000, XP
- Pentium®. III 450MHzまたは同等のプロセッサ
- 128MB 以上のメモリ空き容量（512MB以上推奨）
- USB ポート
- 9.0以上のDirectX
- 500MB以上のハードディスク空き容量
- High Color（16ビット）以上のカラーモニタ
- CD-ROMドライブ
- 標準マウスおよびキーボード
- ステレオスピーカー

Macintoshユーザー **Mac**

- PowerPC プロセッサ
- Mac. OS Version 9.2~X
- USB ポート
- 96MB 以上のメモリ空き容量（128MB以上推奨）
- 400MB以上のハードディスク空き容量
- High Color（16ビット）以上のカラーモニタ
- CD-ROMドライブ
- 標準マウスおよびキーボード
- ステレオスピーカー

9 画像と動画をパソコンに取り込む

• ファイルを取り込む前に


重要!
本機をパソコンに接続する前に、同梱のCDからソフトウェアをインストールしてあることを確認してください。「8 ドライバをパソコンにインストールする」をご参照ください。

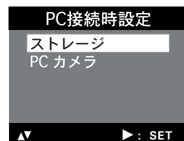
• ストレージとPCカメラの選択

本機をパソコンに接続したときは、ストレージかPCカメラとして使用できます。初期（お買い上げ時）設定はストレージに設定されております。PCカメラとして使用する場合は、PC カメラモードを選択します。

ストレージモードでは、本機は外付けハードディスクドライブになり、本機の内蔵メモリまたはSDメモリカードに保存した静止画や動画を閲覧したり取り込むことができます。PC カメラモードは、パソコンで動画を撮影することが可能です



1. 静止画撮影モードを選択します。
2. セットアップメニューを選択します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押し、「PC接続時設定」を選択します。
4. ▶ SET ボタンを押します。

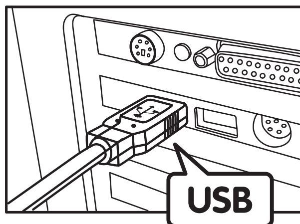


5. ▲ または ▼ ボタンを押し、「PCカメラ」を選択します。
6. ▶ SET ボタンを押し、決定します。

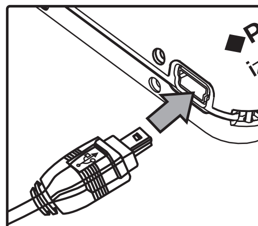

注意:
本機の電源が切れるとストレージモードにリセットします。.

• パソコンに接続する

USB ケーブルを使って接続します。



USB （A ）端子をパソコンに接続してください。



USB （ミニB）端子を本機またはドッキングステーション接続してください。

1. 本機の電源を切ります。
2. USBケーブルのUSB（A）端子をパソコンのUSBポートに差し込みます。
3. USBケーブルのUSB（ミニB）端子を本機のまたはドッキングステーションのUSBポートに差し込みます。
4 本機の電源を入れると「新しいハードウェアが見つかりました」とのメッセージが表示されます。
5.「マイコンピュータ」に「リムーバブルディスク」が自動的に表示されます。

• 画像と動画をパソコンに取り込む

Windows®ユーザーの方へ: **PC**


Memo:
本機がどのモードに設定されていても画像や動画をパソコンに取り込めます。

1. 本機の電源を入れます。
2. 本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。
3. パソコンの「マイコンピュータ」に「リムーバブルディスク」が表示されます。
4. 「リムーバブルディスク」->「DCIMフォルダ」の順にそれぞれダブルクリックして開き、「DCIMフォルダ」内のフォルダやファイルにアクセスします。
5. フォルダ内のすべての画像ファイルと動画ファイルは、パソコン上の別のフォルダなどにコピーや移動をして取り込むことができます。またフォルダの追加や、PhotoBaseソフトウェアを使ってファイルを編集、管理することもできます。

Macintoshユーザーの方へ: **Mac**


Memo:

パソコンに画像を取り込むためにドライバをインストールする必要はありません。

1. 本機の電源を入れます。
2. 再生モードを選択します。
3. USB ケーブルでカメラをパソコンに接続すると自動的にカメラが認識され「名称未設定」ドライブがデスクトップ上に現れます。


Memo:
MacOS のバージョンによってドライブ名が「名称未設定」以外に設定されることがあります。

4. 「名称未設定」ドライブをダブルクリックすると、DCIMフォルダが現れます。
5. 「DCIMフォルダ」をダブルクリックすると、いくつかのフォルダが現れます。
6. フォルダ内の画像ファイルや動画ファイルをパソコンにコピーします。

10 PCカメラモードについて


重要!
PCカメラ機能を使う前に、本機をPCカメラモードに切り換えてください。（詳細は56ページの「ストレージとPCカメラの選択」をご参照ください。

• NetMeeting™ の設定


Memo:
NetMeeting™を起動する前に、動画モードを選択します。

1. ドッキングステーションに本機を置きます。詳細は、9ページの「ドッキングステーションを使う」をご参照ください。
2. USBケーブルパソコンのUSBポートに、もう一方の端をドッキングステーションのUSBポートに差し込みます。
3. 「PCカメラ」モードを初めて使う場合、 Windowsシステムディスクをセットするようにメッセージが現れることがあります。 Windows システムCDまたは付属のCDをCD-ROM　ドライブにセットし、指示に従いドライバをインストールしてください。
4. マイクロフォン（別売）およびスピーカー（別売）をパソコンのマイク端子およびラインアウト端子にそれぞれ差し込みます。

• NetMeeting™ を開始する


Memo:
初めてNetMeetingを使用するWindows®. XP / 2000ユーザーは、「スタート」→「ファイル名を指定して実行（R）」→「“conf”」と入力→「OK」の順にMicrosoft NetMeeting を起動し、画面のセットアップ指示に従ってセットアップしてください。

1. デスクトップ上の「NetMeeting」アイコンをダブルクリック、または「NetMeeting」アイコンをWindows スタートメニューから選択します。
2. Microsoft. NetMeetingの使用方法について、さらに詳しいヘルプが必要な場合は、メニューバーの「ヘルプ」を選択し、必要なトピックを選びます。以下のウェブサイトを参照することができます（英語のみ）。
http://www.microsoft.com/windows/netmeeting.



11 トラブルシューティング

以下のトラブルシューティングは簡単なトラブルに対しての対処法のご紹介です。問題が続く場合は、カスタマーサポートに連絡してください。詳細は「アフターサービス」にあります。

症状	原因	対処
Polaroid izone300. カメラドライバをインストールしている時にエラーメッセージが出ます。	Polaroid izone300.カメラドライバがロードされていません。	他のすべてのアプリケーションを終了し、ドライバの再インストールを試みます。
		BIOSのUSBコントローラが作動しているかチェックします。BIOSのUSBコントローラを作動させる方法については、Polaroid社のウェブサイトを参照してください。
コンピュータに画像をアップロードできません。	接続失敗。	すべてのケーブル接続が固定されていることをチェックしてください。
	ドライバタイプが不正確。	カメラドライバタイプをストレージモードに設定します。
Polaroid izone300. カメラドライバを作動させることができません。	別のカメラドライバまたはキャプチャデバイスと衝突しています。	コンピュータに別のカメラをインストールした場合、カメラおよびそのドライバをシステムから完全に削除し、izone300™と衝突することを防ぎます。
CDインストールウィザードが動きません。	オートインストールファイルがオフになっている、またはCD-ROMが接続されていません。	コンピュータのデスクトップに行きます。「マイコンピュータ」を右クリックします。 「プロパティ」をクリックします。「デバイスマネージャ」を選択します。「CD-ROM」をダブルクリック、「CD-R（通常メーカー名）」をダブルクリックします。「設定」をクリックします。 「自動挿入通知」および「接続解除」の両方にチェックが入っていることを確認します。 設定変更の場合コンピュータはPCの再起動を聞いてきます。「Yes」をクリックします。
画像をコンピュータにアップロードしたら、画像がぼやけています。	シャッターボタンを押すことと実際の露出の間に瞬間的な遅れがある可能性があります。	露出が完了したことを示すビープ音がするまで、izone300™. カメラをしっかり構えます。

症状	原因	対処
izone300™.カメラがハングし、全ボタンが動きません。	静電気放電に影響されている可能性があります。	リセットボタンをペーパークリップまたはボールペンでそっと押し下げます。（約5秒そのまま）。
電源ボタンを押してもデジタルカメラが動作しません。	バッテリがなくなっています。	バッテリを再充電します。
カメラの電源が急に切れました。	オートパワーオフ機能が作動しています。またはバッテリが切れています。	カメラの電源を入れます。またはバッテリを再充電します。
シャッターボタンを押しても、撮影できません。	カメラの電源が切れている、またはフラッシュユニットが充電中です。またはメモリが一杯です。	カメラの電源を入れます。またはフラッシュユニットの充電が終わるまで待ちます。または、もう必要のない画像を削除する、または別のメモリカードを使います。
セルフタイマーカウントダウン中カメラの電源が切れます。	バッテリがなくなっています。	バッテリを充電してください。
撮影した静止画がメモリに保存されていません。	保存操作を完了する前にカメラの電源をオフにしています。または、保存操作が完了する前にメモリカードを取り外しています。	バッテリインジケータが液晶モニタ上にある場合、できる限り早く新しいものとバッテリを交換します。または、保存操作が完了する前にメモリカードを取り外さないようにします。
再生した静止画の色が撮影中の液晶モニタ上の静止画の色と異なります。	太陽光または別の光源からの光が撮影中直接レンズにあたっています。	太陽光が直接レンズにあたらないように、カメラの位置決めをしてください。
静止画が表示されません。	別のカメラで撮影した非DCF 静止画が入っているメモリカードがカメラにロードされています。	このカメラは別のデジタルカメラで使ったメモリカードに記録した非DCF 静止画を表示できません。
カードスロットにメモリカードを挿入しても、カードがカメラに認識されません。	一部のブランドのメモリカードは、物理的寸法が国際基準に合致しない場合があります。 結果として、これらのカードは、本カメラでは認識されません。	別のブランドのメモリカードをカメラで試してみてください。問題が続く場合は、http://www.polaroid.com のカスタマーサービスを参照してください。

症状	原因	対処
静止画を削除することができません。	メモリの静止画はすべてプロテクトされています。	削除したい静止画のプロテクトをはずします。
AVI ファイルが再生できません。	DirectX のバージョンが9.0以下、またはWindows Media Playerがコンピュータにインストールされていません。	direct 9.0 以上のバージョンをインストールしてください。詳細は、 http://www.microsoft.com/japan/windows/directx/default.mspx を参照してください。またはhttp://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/default.mspx で、動画再生用にWindows Media Player をダウンロードしてください。
カメラはWindowsが検出し、適切に動作します。しかし、リムーバブルディスクのドライブレターが作成されません。	リムーバブルディスクが、ネットワークドライブとクラッシュしています。	クラッシュしたネットワークを解除し、このドライブレターをカメラに保存します。
どのボタンを押しても、カメラから反応がありません。	液晶モニタがフリーズまたはカメラがハングしました。	ペーパークリップまたはボールペンを使い、リセットボタンをそっと押し下げます。（約5秒間そのままにします）
印刷前または印刷中、エラーメッセージが液晶モニタに表示されます。	プリンタが一部の印刷高機能をサポートしていない可能性があります。またはなんらかの故障がプリンタに発生しています。または、プリント設定は画像のみに構成できます。	特定の印刷設定に「DEFAULT」を設定する、または http://www.polaroid.co.jp で解決策を参照します。または、プリンタのユーザーガイドの解決策を参照してください。または、印刷前に動画やその他のファイルがメモリに入っていないことを確認してください。
静止画が露出過剰または露出過少です。	不正確なフラッシュ モードが撮影に適用されています。	周囲の照明状況に従い、撮影に正しいフラッシュモードを選択します。
キャプチャモードでカメラをPCに接続した場合、 Windows がシステムディスクを挿入するようにプロンプトします。	izone300™. camera ドライバインストールが完了していません。	Windows CDまたはizone300. ドライバ CDを挿入します。izone300. ドライバ CDが挿入されている場合、CD-Rom drive¥software¥driver¥Sysfileにパスを設定してください。そしてインストールを続行してください。

また、付属のアプリケーションについているヘルプファイルおよびユーザーガイドを参照してください。詳しい情報とサポートについては、当社ウェブサイト: http://www.polaroid.com を参照してください（英語のみ）。

12 アフターサービス

• Polaroid オンラインサービス
Website: http://www.polaroid.co.jp

• カスタマーサポート



質問またはヘルプが必要な場合は、0120-103-772にお電話を頂くか、 http://www.polaroid.comを参照してください。

• ArcSoftソフトウェアヘルプ

米国
ArcSoft HQ Support.Center
(Fremont, CA 94538)
Tel.: 1-510-979-5599
Fax: 1-510-440-7978
E-mail: support@arcsoftsupport.com
Web: http://www.arcsoft.com/en/support/

ラテンアメリカ
E-mail:latinsupport@arcsoftsupport.com

欧州
ArcSoft Europe Support Center
(アイルランド)
Tel.: +353-(0) 61-702087
Fax: +353-(0) 61-702001
E-mail: eurosupport@arcsoft.com

中国
ArcSoft China Support Center
（杭州）
Tel.: +86-571-88210575
E-mail: support@arcsoft.com.cn
Web: http://www.arcsoft.com.cn/new/support

日本
ArcSoft サポートセンター（東京）
Tel.: +81-3-5795-1392
Fax: +81-3-5795-1397
E-mail: support@arcsoft.jp
Web: http://www.arcsoft.jp

台湾
ArcSoft Taiwan Support Center (台湾)
Tel.: +886-(0) 2-2506-9355
Fax: +886-(0) 2-2506-8922
E-mail: support@arcsoft.com.tw
Web: www.arcsoft.com.tw

技術サポートおよびよくある質問（FAQ）については、http://www.arcsoft.comを参照してください。

13 付録

• 技術仕様

有効画素数	• 撮像素子: 1/2.5インチ 320万画素CMOSセンサー
レンズ	• 5群5枚 IRフィルタ • F3.5 • f = 8.66 mm • 撮影距離 1 m~∞（レンズ表面から） • 測距ゾーン: 中央部
液晶モニタ	1.5インチカラーTFT
内蔵フラッシュ	• モード オート,常時発光,発光停止 • 撮影範囲　1~2m
露出補正	0.3段ステップ　-/+1.5段
シャッタースピード	電子シャッター　1/1000秒~1/20秒
ホワイトバランス	オート、太陽光、 くもり、白熱灯、蛍光灯

メモリ	• 内蔵メモリ　8M • 外部メモリ 1GBまでのSDカードに対応（別売）
ファイルフォーマット	• 静止画 EXIF 2.2 互換フォーマット（JPEG圧縮） • 動画
電源	内蔵リチウムイオン電池
セルフタイマー	約10秒
コンピュータへの接続	USBケーブルおよびドッキングステーション（付属）
寸法	• サイズ:（W） 91 mm x（D） 17 mm x（H） 63.5 mm • 重量: 約90g（内蔵バッテリー含む、SDカードは含みません。）
対応OS	• Windows: Microsoft. Windows. 98SE, Me, XP • Macintosh: Mac OS 9.2~X

• SDカードの種類と記録可能画像数の目安

以下のチャートは、内蔵メモリと様々な容量のSDカードで、記録できる静止画や動画のおよその枚数と長さを示します。

撮影可能枚数の目安

単位：枚

解像度	画質	8MB 内蔵メモリ（3MB データ保存用）	32MB SD	64MB SD
2048 x 1536	ファイン	3	35	70
	ノーマル	6	54	108
	ライト	9	55	110
1600 x 1200	ファイン	7	62	124
	ノーマル	12	90	180
	ライト	17	96	192
640 x 480	ファイン	31	234	468
	ノーマル	46	290	580
	ライト	62	298	596

解像度	画質	128MB SD	256MB SD	512MB SD	1GB SD
2048 x 1536	ファイン	140	280	560	1120
	ノーマル	216	432	864	1728
	ライト	220	440	880	1760
1600 x 1200	ファイン	248	496	992	1984
	ノーマル	360	720	1440	2880
	ライト	384	768	1536	3072
640 x 480	ファイン	936	1872	3744	7488
	ノーマル	1160	2320	4640	9280
	ライト	1192	2384	4768	9536

撮影可能時間の目安

単位:分

	解像度	撮影できる時間
8MB 内蔵メモリ（3MB データ保存用）	640 x 480	0.2
	320 x 240	0.3
32MB SD	640 x 480	2.6
	320 x 240	2.9
64MB SD	640 x 480	5.1
	320 x 240	5.1
128MB SD	640 x 480	9.6
	320 x 240	10
256MB SD	640 x 480	19.2
	320 x 240	20.6
512MB SD	640 x 480	37.7
	320 x 240	40.1
1GB SD	640 x 480	75.6
	320 x 240	81.1



Memo:
静止画のファイルサイズは被写体によって異なります。例えば、秋の林の静止画は、同じ解像度および画質設定の青空の静止画よりも大きいファイルサイズになります。そのため、メモリに保存できる静止画枚数が変わることがあります。

• ドライバのアンインストール（PCのみ）

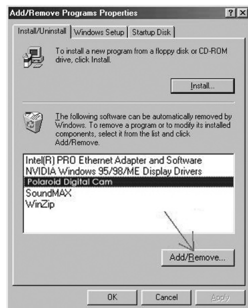
PC

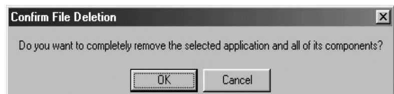
Windows. 98SE ユーザーの方のみ:

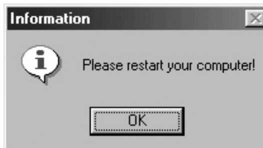


注意:
以下のドライバアンインストールの手順は、Windows　98SEユーザーの方向けです。（Windows 98SE は、ドライバをインストールする必要があります。）

1. コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」 を開き、「Polaroid Digital Cam」プログラムを選択、「追加と削除」をクリックします。
2. 以下のウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックし、ドライバを削除を確認します。
3. アンインストールプログラムが実行されます。プログラムが終了したら、パソコンを再起動してください。







• デフォルト（お買い上げ時）設定

撮影モード	設定項目	デフォルト設定
静止画撮影モード	画像サイズ	2048 x 1536
	画質	ファイン
	露出	オート
	ホワイトバランス（静止画）	オート
	フラッシュ モード	オート
動画撮影モード	動画の解像度	640 x 480
	ホワイトバランス	オート
セットアップモード	日付 フォーマット	DD/MM/YY
	オートパワーオフ	1 分
	操作音	オン
	周波数	50 Hz
	表示言語	英語
	日付スタンプ	オフ
	PC接続時設定	ストレージ


Memo:
液晶モニタの表示言語のデフォルト設定は、国および地域によって異なります。

• バッテリーについて

バッテリーが早く消耗しないために、以下の操作はできるだけさけてください
•液晶モニタで静止画を確認する。
•液晶モニタを使っての静止画の撮影（ファインダーをお使いください）。
•過度なフラッシュ発光 。

重要!
- バッテリーの充電は大人の方が行ってください。
- バッテリーの持続時間は、使用状況により異なります。

本機を永らくご愛用いただくために、以下の点にご注意ください。

• 安全とメンテナンスのヒント

本機は、以下の環境条件内で作動します。
- 0~40° C, 32~104° F
- 湿度20%~85%、(結露しないこと)

バッテリーの持続時間や画質はこれらの条件以外に影響されることがあります。

⚠ 警告

- 本機やアクセサリを決して液体に浸さないでください。
- パソコンまたはTVに接続したままクリーニングしないでください。
- 必ず、水または中性洗剤に浸したやわらかい布で埃または汚れをとってください。
- 本機の表面に熱い物を置かないでください。
- 本機を解体したり分解したりしないでください。その場合は保証の対象外になります。

アフターサービス

保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より購入日と販売店欄などの記入をお受けください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

本製品に関するお問い合わせ、およびサポートについては日本国内限定とさせていただきます。

※付属ソフトウェアに関する情報、使用方法等の詳細については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

サポートダイヤル　0120-103772

受付時間：月曜~金曜　10：00~17：00　（土・日・祝祭日を除く）

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートダイヤル休業日にはお電話をお受けできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、サポートダイヤルが通話中の場合は、誠に恐れ入りますが、しばらく経ってからおかけ直しくださいますようお願い申し上げます。

著作権についてのご注意

本製品で記録したものを私的な目的以外で著作権者、およびほかの権利者の承諾を得ずに複製・配布・配信することとは、著作法および国際条約の規定により禁止されています。なお、実演・興行・展示物などで、個人として楽しむなどの目的があっても、記録を制限している場合があるのでご注意ください。

その他のご注意

○ 本製品およびパソコンの不具合によりデータが破損、または消去された場合のデータの内容の補償に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
○ 本製品のご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
○ 本製品のご使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業の利益損失、中断などを含む）に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
○ 本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

輸入発売元
日本ポラロイド株式会社
〒105-0001
東京都港区虎ノ門3-18-19 虎ノ門マリンビル

JP 0406
Part No.: OM3505JP001